

フブ・服部の中国通信

いたずらっ子のアテンド！？

「服部さん、インド行きますよ！！」

「**断る！！ 二年前、夜行列車で私に何をしたか忘れたか！**」

「えっ～、英語が喋れないのを知っていて、まわりがすべてインド人の車両に一人で放り込んだだけじゃないですかあ～」

「**だけじゃないでしょ～、せめて降りるとき電光掲示板に駅名が流れるような列車ならいいけど、あの列車はアナウンスもないし、深夜でほぼ無音だし、最終的には親切なインドの方に身振り手振りで降り方を教えてもらってやっと降りることができたけど… あの日は本当に不安で眠れなかったんだから！！**」

「まあまあ、昔の事は水に流して、未来志向で行きましょうよ！」

「**嫌だ！**」

「そんなこと言っても、あんたが来ないと話が前に進まないんだから、ゴチャゴチャ言わずについてきなさい」

「…はい」

突然ですが上司でもないインド担当佐藤さんの命令で来月初旬からインドに行く事になりました。アーバングレーの原石を買い付けに行きます。

英語が抜群に上手い（と噂の）**オカザキ**が入社してからインド行きは干されていたのですが、今回2年振りのインド、あまりの嬉しさに膝がガクガク、胃がキリキリしてきました（笑）

とは言えせっかく貴重な出張費を使って行くので、中国目線でのインド材現況も報告したいと思います。また今回は札幌営業所よりS藤氏も交えての珍道中？です。インドビギナーの私たちが「いたずらっ子」のアテンドでどんな風に料理されてしまうのか、などなど来月は中国メルマガインド編という新ジャンルにてご報告できればと思っております。お楽しみに！！

それでは今回はネタもありませんのでこの辺で…と言ったら偉い人に怒られそうなので…

私が自分の足で稼いだ仕事以外の情報についてご紹介させていただきたいと思います。などと言うと、いかがわしい想像をされてしまいそうですが、至ってカタギな情報です。

例えば、先日たまたま大阪営業所の T 所長、名古屋の S 所長と廈門で鉢合わせた際に行ったお店「米店」というのがあります。名前は「米店」ですが出しているのはお酒です。場所は弊社廈門事務所から徒歩 3 分と至便。



↑ 上司の M 本が愛するサントリーウイスキー、白州のボトルが置いてあるではありませんか！

ショットバーと言うような肩肘を張ったものではありませんが、カウンタースタイルで比較的静かな環境でお酒を飲ませてくれるお店です。値段も日本より少し安いかな？という程度で軽く一杯、と言うような用途には良いかもしれません。

ノンアルコールな方にはこちら↓、足マッサージの世紀陽光
米店よりこれまた徒歩数分、マッサージでもしてもらおうかと思ったのがここで、廈門市内でも数店チェーン展開している人気店です。



↑ 店の入り口、ものすごく高級そうに見えますが、まあ市場価格といった感じでしょうか。そう高くはありません。

このお店の特徴は、マッサージ前に足を浸ける薬湯に、なにやらオシャレな選択肢があるところです。



**左はS澤が牛乳湯を頼んだ際の写真です。ファン必見！(笑)右は当店ホームページより。
なかなかオシャレでしょう？美容にも良さそうです。
マッサージもなかなか丁寧にやってくれ、とても良い気分になりました。(半分ぐらい気持ち
よく寝ていたのも含めて…)**

などなど、タイミングが合えばご案内しますのでご興味おありでしたらぜひご一報を。

今回少々取材がおろそかになっており、あまり仕事についてお話できませんでしたが、今月は中国のお客様も沢山いらっしゃったので、閑散期の需要を喚起すべく色々ネタを仕込んでおります。また営業マンから面白い商材もご紹介できるかと思っておりますので是非よろしく願いいたします。注文欲しいです、とても！

それでは週明けからインド遠征に出かけます。また来月会いましょう、再見。

2014年12月 服部